

図書案内

2021年 9月号

担当 3-4 春日 3-5 羽田

アメリカを知る

今から70年前、1951年9月8日に、吉田茂首相はサンフランシスコ平和条約に調印しました。それにより日本は主権を回復し、同時に結ばれた日米安保条約により、日本の安全保障をアメリカに委ねることになりました。

その後現在に至るまで、日本とアメリカは外交面・文化面において深い関わりを持っています。今回は、このように日本と縁の深いアメリカに関係する本を紹介します。

本は図書館にて貸出しています。

『ポー 黒猫 世界名作ショートストーリー』 エドガー・アラン・ポー

日本の推理小説家、江戸川乱歩のペンネームの由来になった人物であるエドガー・アラン・ポーの短編集です。

このなかの話の一つ、『週に三度の日曜日』は思わず一本取られたと言いたくなる話です。主人公の青年は大伯父の娘との結婚を望んでいますが、大伯父は青年に娘をやるつもりは無いようで、青年に不可能と思われることを提案します。果たして青年と娘は無事結婚できるのでしょうか？(羽田)

おまえがケートと結婚してお祝いを手にするのは、一週間のうちに三度日曜日がやってきたときだ。だが、そのときがくるまでは、ぜったいにだめだ。



『オズの魔法使い』 ライマン・フランク・ボーム

見知らぬ土地に飛ばされたドロシーが、オズの魔法使いに故郷に戻るをお願いをするための旅路で、かかしやブリキの木こり、ライオンと出会います。それぞれが脳、心、勇気をもらおうと、一緒に「エメラルドの都」に向かうのですが……。

本当に欲しいものは簡単に手に入るわけではない。手に入れるまでの過程が大事で、そこで経験して身につけたことは、本当に必要とされる時に自ずと発揮できる、ということを楽しむながら読むことができるお話です。(春日)

ほんの少しでもいい、勇気がほしい。それなしでは、わしの人生は耐えがたいんだ。



『アメリカなう。』 小国 綾子

アメリカと日本には大きな違いがある。言語、お金、家の広さ……。枚挙に遑が無いのでこれ以上は書かないが、アメリカが日本と全く異なる世界であることは確かである。

とはいえ、心の中では「アメリカ人も日本人も人間だから、実は違いはそんなに大きくないんじゃない？」と高を括っている人もいるだろう。そんなあなたにこの一冊。面白おかしく読み進めながらも、その違いに驚愕すること間違いなし。(羽田)

か、か、母ちゃんが……キスされた——っ！！

『映画の英語 心にのこる名場面・名せりふ』 原島 一男

映画の中での英語表現は、おしゃれな言い回しが多いように思います。直接的に表現するのではなく、比喩を用いて、しかも物事の本質を捉えた、そんな表現です。この本には様々な英語の映画が載っています。本書を読み、興味を持った映画もぜひ見てください。

特に心に残った『泥棒成金』という映画の一文を紹介します。(春日)

“You know as well as I do, this necklace is imitation.”

“Well, I’ m not.”

「あなたも良く知ってるように、このネックレスは本物じゃない」

「あら、私は本物よ」



「現代日本の幕開け」と言われるサンフランシスコ平和条約

サンフランシスコ平和条約とは、太平洋戦争終結のために、1951年9月8日に調印した日本と連合国48か国との間に結ばれた講和条約です。1952年4月28日発効されました。つまり、この日をもって日本は独立を回復して国際社会に復帰。戦争状態が終結したのです。しかし、ソ連・ポーランド・チェコスロヴァキアは調印を拒否、インド・ビルマ・ユーゴスラヴィアは欠席、中国は招かれず(アメリカから正式の国として認められていなかったため)、全面講和とはなりません。全文と27条からなり、ポツダム宣言に基づき、明治以降日本が併合した全領土の放棄、軍事力撤廃、賠償支払いなどを決定。沖縄・小笠原はアメリカの施政下に置かれました。同時に日米安全保障条約が結ばれ、日米行政協定も同時に発効したことで、日本の対米依存は強くなりました。

今年は平和条約の調印からちょうど70年になります。その間の日本の発展はめざましいものですが、日米の安全保障問題や領土問題など、時を経てもあいまいなままの問題も残っているのです。

【引用文献】『世界史事典 三訂版』 旺文社 2000年